

特許庁の今後のあり方についてのビジョン

◆◆ 変化に柔軟に対応し、変わること躊躇せず、生き生きと仕事をする特許庁をめざします ◆◆

知的財産権をめぐる情勢は、国内外を通じて様々な変化し続けています。これからの知財システムは、そのような環境変化に柔軟に対応できるグローバルな体制でなければなりません。

現在、時代に呼応したグローバルな知財システムの構築に向け、国際的にも活発な議論が進められています。特許庁も、その議論に積極的に参加しています。その際にも、特許庁は、知財システムは、知財ユーザーのためにあるという観点、つまりユーザー本位の観点を強く認識しています。



特許庁は、ビジョンを掲げながら、常に内外の知財ユーザーを意識し、ユーザー本位のサービスを提供します。

特許庁は、知財ユーザーに向けて、ビジョンを掲げます

特許庁ビジョン



めざす組織
特許庁は、このような組織をめざします

組織ミッション
特許庁は、このために存在します

行動指針
特許庁は、これらを日々心がけます

● 具体的な「取り組み」の積み重ねで、ビジョンを実現したいと思います。

- ✓ チームを作り、「業務改善」に組織的に取り組んでいます。
- ✓ ユーザーの「声」を定期的にとりまとめ、制度、手続の改善に取り組んでいます。
→ 特許庁ロビーの案内板も、ユーザーの「声」で見やすく変わりました。
- ✓ 英語での情報発信を増やし、世界からも「声」を集め、聴いています。
- ✓ 手続、審査プロセスの可視化に努め、基準の透明性を高めています。
- ✓ 民間ベストプラクティスにならない、管理会計的な手法で収支管理を行います。
- ✓ すべての業務を可視化し、より合理的、効率的な基盤システムを構築中です。

特許庁は、ユーザーの声に敏感で、自らを変えていくことに常に柔軟な組織をめざします。ユーザーの満足度に励まされて、さらに生き生きと仕事をする、そんな特許庁になりたいと考えます。

知的財産権における環境変化に対応するため、特許庁は、国際議論をリードし、グローバルな知財システムの構築に貢献します。
また、ユーザーのニーズに応える質の高いサービスを提供します。

特許庁は、次のことを心がけながら、日々の仕事を行います。
特許庁の今後のあり方についてのビジョンは、私たち職員の日々の業務(取り組み)によって実現されていくものと考えています。

- ✓ **柔軟性** …… 知財環境の変化、ユーザーニーズの変化に柔軟に対応します !
- ✓ **グローバルな視点** …… グローバルな視点からイノベーションを支え、グローバルな知財システムの構築に貢献します !
- ✓ **ユーザー視点** …… ユーザーの声に敏感でユーザー視点で質の高いサービスを提供します !
- ✓ **説明責任と透明性** …… 審査と手続、そして各々の基準に説明責任を負い、仕事においてコスト意識と透明性を高めます !
- ✓ **合理性** …… 特許庁を「経営する」という意識で、情報技術(IT)を駆使して、合理的、効率的に仕事を行います !
- ✓ **改革と改善** …… 特許庁の職員は、改善も仕事の一部として考え、自ら変わること、変えることに躊躇せずに仕事をします !